

議事録（概要版）			
件 名	生物多様性なら戦略 第1回改定委員会	記録者	エヌエス環境株式会社
月 日	令和4年8月26日（金）		
時 間	12:30～15:00	形 式	委員会
場 所	奈良県文化会館 集会室A B		
出席者	希少野生動植物保護専門員	前田 喜四雄（哺乳類） 元吉 司（鳥類） 井上 龍一（両生・爬虫類） 細谷 和海（魚類） 宮武 頼夫（昆虫） 尾上 聖子（植物） 丸山 健一郎（菌類）	
	生物多様性飛鳥地域保全活動推進協議会	木村 史明（橿原市昆虫館副統括）	
	環境省 自然環境局 自然環境計画課 生物多様性戦略推進室	坂本 朋美（室長補佐）	
	環境省 近畿地方環境事務所	徳丸 久衛（生物多様性保全企画官）	
	奈良県 景観・自然環境課	吉浦 慎治（課長） 福井 靖典（課長補佐） 山原 美奈（係長） 有山 麻衣子（主査）	
	エヌエス環境株式会社	鈴木 拓哉（管理技術者） 川瀬 誉博（担当技術者） 地俱 尚哉（担当技術者）	
	傍聴者	なし	
議 事 次 第			
1. 奈良県挨拶			
2 令和4年4月1日付け 希少野生動植物保護専門員 委嘱委員紹介 令和4年度 生物多様性なら戦略 第1回改定委員会 出席者紹介			
3. 会長選出			
4. 生物多様性なら戦略改定事業の概要、スケジュール説明（奈良県）			
5. 講演「生物多様性国家戦略と地域戦略について」（環境省）			
6. 報告「現生物多様性なら戦略と国家戦略素案、地域戦略ひな形(案)の比較」（エヌエス環境㈱）			
7. 議論「次期生物多様性なら戦略のあり方について」			
8. その他連絡事項等			

1. 会長選出

項目	概要
会長選出	互選により、前田喜司雄先生が会長に選出された。

2. 講演「生物多様性国家戦略と地域戦略について」(環境省) Q: 保護専門員 A: 環境省

項目	概要
OECM	Q: OECM 登録の基準はあるか? A: 面積要件はない。そのうえで、①名称・区域が明確であること、②管理者が明確であること、③生物多様性の価値に関する基準(保全上重要な場所である、保全上重要な種が生息する、保全上重要な機能がある等)等が基準である。 Q: OECM を 100 箇所とする根拠は? A: 確認が必要だが、来年度は 100 箇所以上を目指し、そこから徐々に増やすということも考えられる。 Q: OECM が全国で 100 箇所では、少なくないか? A: まず来年度は 100 箇所以上を目指し、認定の基準についても実証事業や認定後のモニタリング等で検証していく。
他省庁との連携	Q: 流域管理の問題は国交省等の他省庁との連携が必要。国家戦略はどの程度コミットするのか? A: 国交省含めて関係省庁と協議しながら進めている。エコ DRR 等の研究成果を地域にどう実装していくかという事にも重点的に取り組んでいく。

3. 議論「次期生物多様性なら戦略のあり方について」

項目	概要
委員会での議論の方向性	- これまでの総括抜きに、国家戦略との比較から議論を始めてしまうと、重要なポイントをいかに盛り込んでいくかが見えにくい。 - 現なら戦略(P128~131)に、県の役割として、①~⑭の取組が示されている。改定作業を始める前にこれの評価・検証が必要。この①~⑭の取組について、できたこと、できなかったこと、できなかった理由をまとめて、第2回改定委員会に出してほしい。
メーリングリスト	会議で意見が分かれた時など、後で調整を図る必要がある時に使うことにする。
委員会の公開	本委員会は公開とし、傍聴者は事前募集とする。

4. その他連絡事項等

項目	概要
アルゼンチンアリの調査予算	生物多様性なら戦略改定事業の予算を使ってアルゼンチンアリ調査を行うことが了承された。
次回委員会の予定	第2回改定委員会は10月7日(金)12時半~15時(会場未定)、第3回改定委員会は11月25日(金)12時半~15時(会場未定)とする。